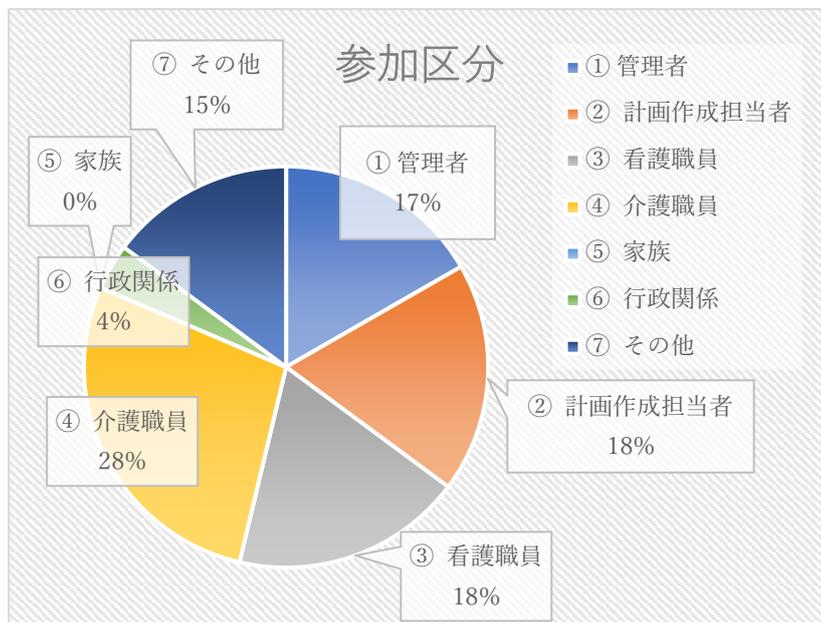


合同研修会アンケート(令和6年11月25日)

アンケート回収率 79%(55/69)

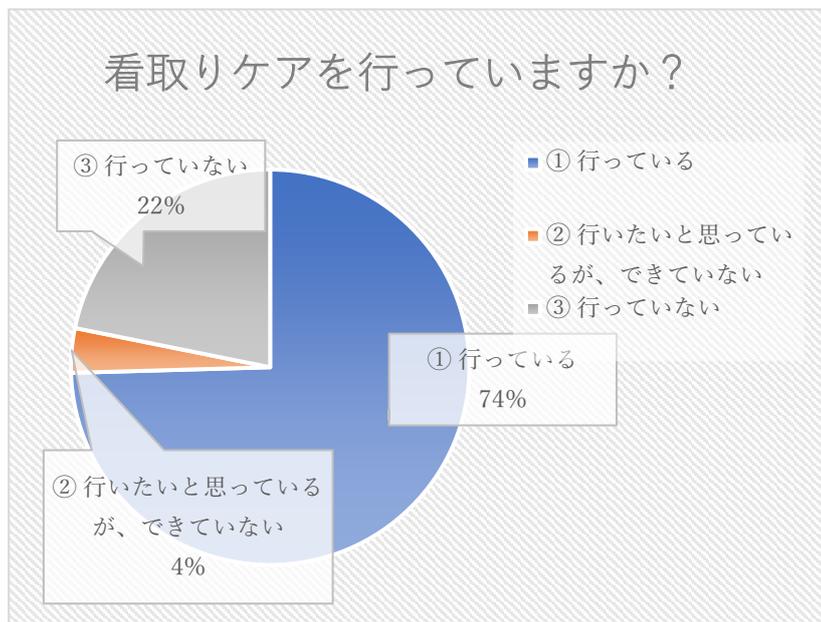
Q1.参加区分を教えてください。

① 管理者	9名
② 計画作成担当者	10名
③ 看護職員	10名
④ 介護職員	17名
⑤ 家族	0名
⑥ 行政関係	2名
⑦ その他	8名



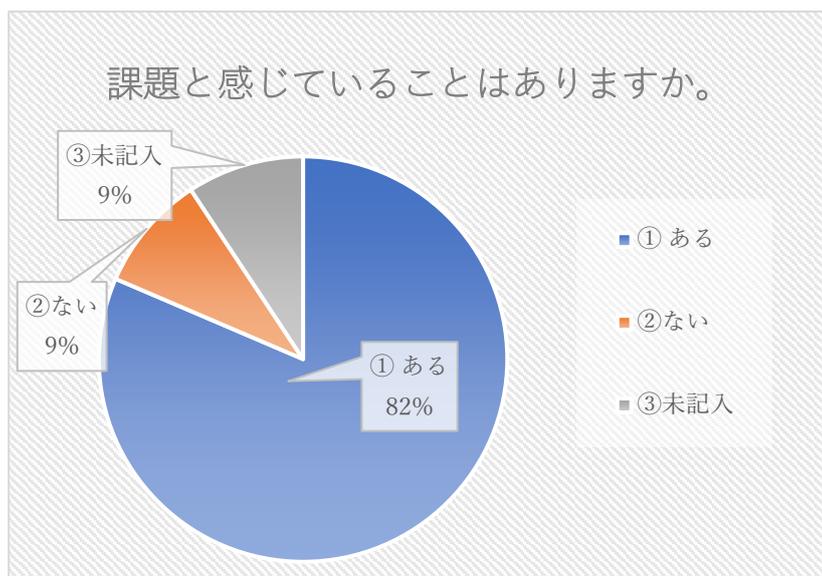
Q2. あなたの事業所では看取りケアを行っていますか？

① 行っている	41名
② 行いたいと思っているが、出来ていない	2名
③ 行っていない	12名



Q3. 看取りケアを行ううえで課題と感じていることはありますか。

① ある	45名
② ない	5名
③ 未記入	5名



【理由】

① ある

- ・個々のケースでの違いがある為。
- ・24時間看護師がいるわけではない。
- ・家族の意思が多い。
- ・本人の希望がわからないこと。
- ・ご家族、本人とのコミュニケーション。
- ・看取りケアのながれなどのケース例とか決まりなどが無い。
- ・看取りを対応する数は少なく、実際の場合に会うとしっかり行えるかどうか不安がある。
- ・最後、入浴が難しくなってくる。本人の希望に沿った看取りができているか。
- ・看取りケアの学習不足や職員間の相違、急なことなので、不安や恐怖がある。
- ・包括支援センターの職員なので、実際に関わることは少ない。
- ・利用者様、家族様との意見の違いや、施設の介護士、利用者様との意見の違いもある。
- ・医療的ケアは足りているのか。喀痰吸引など。
- ・夜勤とかになると、夜勤さんの負担がかなり大変になる。
- ・夜勤帯は、グループホームは9人に対して1人で見ている為、死に対しての急変時対応に不安が大きい。
- ・経験不足、方向性の違い。ご家族の意向のゆらぎ。
- ・経験のあるスタッフは、未経験、新入職員に、実際に行った事を事例にあげて教えていただきたい。
- ・経験年数が少ないスタッフの出勤(特に夜勤)の日の職員のストレス。FAが遠方の際の連絡するタイミング。
- ・病院での看取りなので過度な医療を行っていない。医療を中止していく方向となっている。家族の訪問などを多くするぐらいしかできていない。
- ・本人の意向と家族の意向が全く違う場合のすり合わせ。介護と看護の方針が合わない。
- ・医療的に出来ること、出来ないことがあり、線引きが難しい。
- ・医療と介護の考え方の違い。
- ・事業所で出来る範囲を決めることが大事だなと感じた。
- ・スタッフの不安。特に夜勤中。
- ・家族との話し合いが不足。
- ・各スタッフの意思の統一。
- ・一人ひとりの利用者様に出来る限りの思いやりのある対応(看取り)をしてあげたいと思うが、スタッフの人員や時に手が足りず、なかなか難しいと思った。
- ・家族との認識を合わすことの難しさ。
- ・職員の経験の差による不安、恐れへのフォロー。
- ・十分な職員数等の勤務体制を確保できるかどうかで後悔のない看取りができるか否かにつながる点については、いつもドキドキしている。(不安点)
- ・本人様の希望に添った看取りが出来ているのか？

- ・看取りケアに対する認識、モチベーションに職員間で差がある。(業務が多忙、必要性の認識不足など)
- ・実際に現職場で看取りに関わることはありませんが、本人の意向が確認出来ない時、家族の意向がそれぞれ違うこと。
- ・医療の設備がない。寝たまま入れるお風呂の設備がない。
- ・職員の不安。
- ・毎日を丁寧に!!大切に!!
- ・本人の望んでいた看取りになっているのか悩むことがあった。
- ・スタッフの教育ができていない。
- ・本人さんの意思決定のタイミング、ACPが良い方がいいとは学ぶが、元気なうちにどう聞か、また介護職は日々の業務で手いっぱいなことが多く、そこまで深く話せていない。
- ・早期から本人の意思確認ができておらず、家族の意向になっていることが多いので、本人の意思確認を行うようにしていきたい。
- ・本人、家族の意思を開くタイミングが難しい。その方らしく最期を看取れるよう。元気な時から関わる事。
- ・ご本人、ご家族の意向の聞き取り。
- ・ご自分の意見が言えない認知症の分の思いを汲み取ってどう対応するか、いつも考えます。
- ・職員により状態変化に気付かなかったり、状態を上手く伝えられなかったりする。
- ・看取りをしてはいるが、今後看取りに近いような利用者様を預かった際に今回学んだことを生かせるようにしていきたい。

② ない

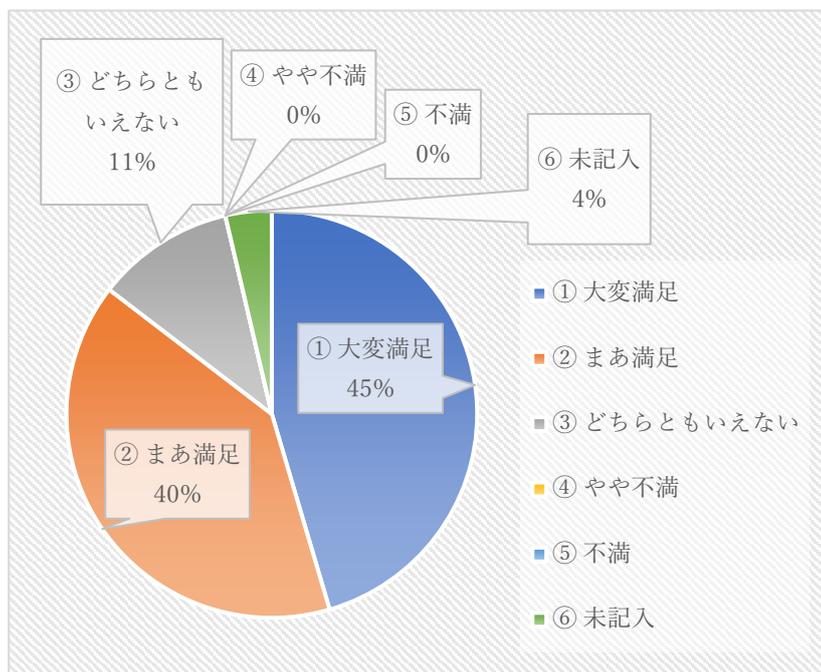
- ・わからない。
- ・看取りケアの経験がないです。

③ 未記入

- ・遠方にお住まいのご家族様と連絡がとりにくい。

Q4. 今回の山崎先生による研修会について、どのくらい満足していますか。

① 大変満足	25名
② まあ満足	22名
③ どちらともいえない	6名
④ やや不満	0名
⑤ 不満	0名
⑥ 未記入	2名



【理由】

① 大変満足

- ・看取りについて学びたいことが学べたから。
- ・わかりやすかった。
- ・考え方が変わりました。
- ・今後のケアに気持的に寄り添える。

- ・色々な事例を話していただき、まだまだ出来ることが自分にもあるなと思いました。
- ・実体験を基にお話していただいたので、大変わかりやすかった。
- ・改めて看取りに関して学ぶことができました。
- ・先生がお父さまに実践してご苦労されたり、結果的に成果が出た事例を見る事ができ、知る事ができた。
- ・適度にグループワークがあり、情報交換ができた。
- ・先生のご両親の事例など聞け、私達もグループホームの利用者さんも希望が持てました。
- ・グループワークを挟んでいて意見交換できた。話がテンポよくわかりやすかった。
- ・先生の経験もお聞き出来て良かった。
- ・事業所を越えてのカンファレンスの必要性を感じた。
- ・ご自身の体験を交えて話して下さることで、看取りケアの必要性を感じた。ちいさな事からでも動く必要があると思った。
- ・体験談を交えて話を聞く事が出来、またグループワークで色々な意見を聞いた事。
- ・大変勉強になった。
- ・自分のしてきた看取りケアについて振り返るいい機会となった。
- ・認知症の人の終末期ケアでの課題を改めて認識できた。

② まあ満足

- ・今現在このホームで看取りの経験はありませんが、色々ホームで話し合う機会が作ればと思いました。
- ・事例や手引きなど学びが沢山ありました。
- ・グループワークでの意見交換できたところが良かった。
- ・グループワークの時間が多かったので、もう少し話を聞きたかった。
- ・講演の中の私の取り組んだことの6項目の説明が良かった。
- ・他の職種の方とのディスカッションできた。それぞれの立場の違い、場所での違いがよくわかった。
- ・わかりやすかった。
- ・今までの看取りに家族の意見しか入っていないことを思い出しました。本人さんの意見をもっと考えていく必要があると思いました。
- ・認知症のある人でも自己決定が出来、自分の意思を伝えられる時に少しでも多くの情報を得て、その方がどのような最期を望んでいるのかを知っておくことが必要。
- ・実際には難しい部分があるが、前向きに検討したいと思う。
- ・導入が長く、もう少し本題が聞きたかった。グループワークも Zoom では上手くできていなかった。(他グループの音声などが入っていた)
- ・Zoom 参加してグループワークの発表など聞きづらいことがあった。
- ・もっと沢山のお話を伺いたかったです。
- ・グループワークにて色々な職種の方と情報交換、色々な意見を聞くことができ良かった。
- ・普段、看取りケアについて、あまり考えたことがなかったので、とても勉強になりました。

③ どちらともいえない

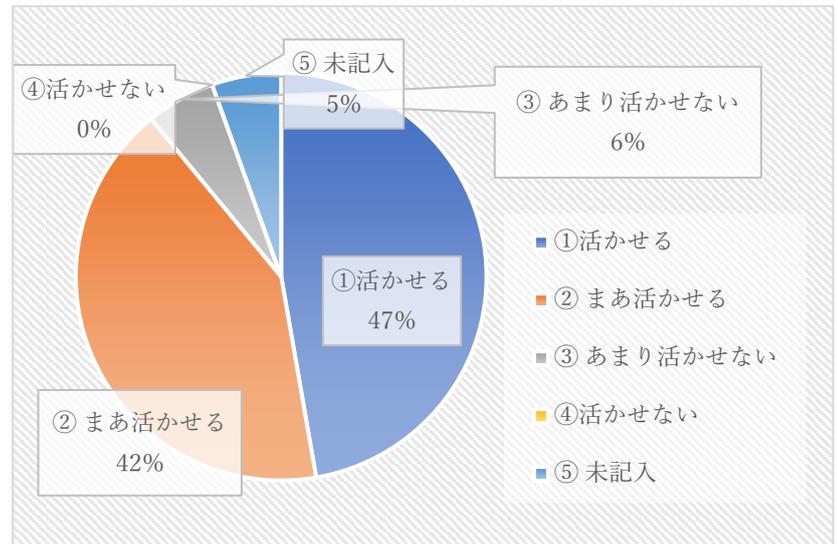
- ・テーマに沿った内容にして詳しくお話して頂けたらと思いました。
- ・グループワークのテーマが話に入りにくかったです。
- ・会場の方が中心になっていて、Zoom では聞き取り辛いところが多くありました。

“未記入”

・ご自身の経験をたくさんお話して下さって、現実味のある研修でした。

Q5. 研修会で学んだ内容は事業所に持ち帰って活かそうですか？

① 活かせる	26名
② まあ活かせる	23名
③ あまり活かさない	3名
④ 活かさない	0名
⑤ 未記入	3名



【理由】

① 活かせる

- ・事業所で話し合う必要がある。
- ・マニュアル作成がとてもいいと思いました。
- ・他事業所の方の話を聞いて勉強になりました。トリセツとか作ってみたいと思いました。
- ・どう過ごしたいかは、看取り関係なく、大事なところだと思う。
- ・普段の生活を続けることが大切だと伝える。状態が悪くなっていくと、入浴、離床などが大丈夫なのか、心配する職員もいる為。
- ・ホーム葬の話がよかった。初めて聞く話だったので、こういう事が出来たらいいと思った。
- ・グループホームでの施設葬は、身寄りのない方に対してすぐに実践できると思いました。
- ・本人、家族からの聞き取りだけで判断せず、現在の様子を見て本人の好きな物を知り、共有する。亡くなった場合、周囲に一切知らせていなかったが死別を知った上で自分ならどうしたい、されたいかを聞いておく。
- ・活かせるよう、事業所と話し合ったりして改善したり、新しい事を取り込めれるようにしていきたい。
- ・看取りに不安を感じているスタッフや意見の相違を話し合うきっかけになった。
- ・終末期にかかわらず、その人らしく幸せに生きる。暮らしていけるよう支援していきたい。
- ・看取りのチェックシート、記録について何を記録するべきか職員が不安にならない取り組みをしていきたい。
- ・本人、家族様と話す機会を持つとうと思いました。
- ・ホーム葬も素敵です。今は単身の方はおいでませんが、とても参考になりました。
- ・みんなに伝達、講習でき、チーム一丸となって情報共有し、何度もカンファレンスしていきたい。
- ・その人らしさをかんがえたり、意思が伝わらるうちに本人の気持ちや意向を聞いてみるのも大切だと思えた。
- ・施設でも、看取りケアを不安に感じているスタッフも多いので、役立てていきたい。
- ・職員とのコミュニケーションに取り入れたい。

② まあ活かせる

- ・現場での実際を知ることが出来、また施設職員の気持ち、ご家族としての気持ちも知ることが出来たため。
- ・ケアをするわけではないが、考え方や事業所様への思いを知ることができたことが良かった。
- ・利用者の方がお亡くなりになった際の見送りは、今までは職員だけが見送っていたが、今後はご家族の理解を得た上で、一緒に生活していた利用者の方のお見送りもできたらと思います。
- ・デイサービスなので、活かせるところをチョイスして。

- ・少しずつでも参考にしていきたいです。
- ・自分だけではなく、この職種についている方は皆同じだという事を伝える。
- ・当施設では看取りは行っていないが、その人が大切にしてきた事の聞き取りや、その人だけのトリセツなど、これからの介護に活かせる内容が沢山あった。
- ・利用者様のトリセツの作成→更新ならば他職種の協力を得ながら実施できそうだと感じた。
- ・グループホームでの看取りについて、少し知る事が出来ました。
- ・常に「いつもの生活とは？」ということを考えながらその人らしさを大切にすることが大事と学べた。事例の看取りの取り組みも参考にしていきたい。
- ・その人のしたい事、意向を大切にすることがいいなと思いました。
- ・自施設で利用者様のトリセツを作成したり、自分達にとっての普通の生活について話し合ってみたいと思います。
- ・看取りを行ってはいないが、その人その人の個々の終末期に合ったケアをしていけるよう対応していきたい。

③ あまり活かさない

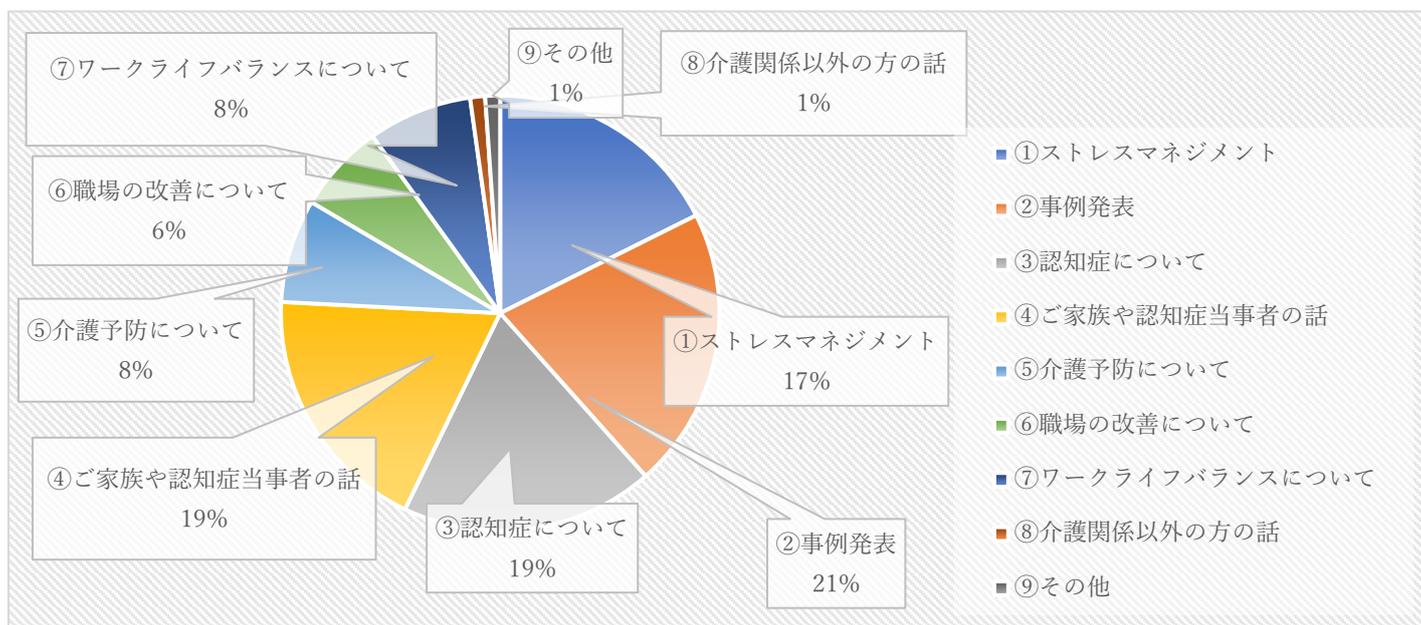
- ・改善案がなかなか通らない。法人の意思決定の時間がかかる。
- ・担当が要支援の方なので看取りの状況まで受け持つ例がほぼないため。
- ・看取りとしては活かさないけれど、いつ何があるかわからないので、何年後かのことを考えてプランに活かしていきたい。

Q6. 今後の合同研修会について参加してみたい内容は何か。

① ストレスマネジメント	16
② 事例発表	19
③ 認知症について	17
④ ご家族や認知症当事者の話	17
⑤ 介護予防について	7
⑥ 職場の改善について	6
⑦ ワークライフバランスについて	7
⑧ 介護関係以外の方の話	1
⑨ その他	1

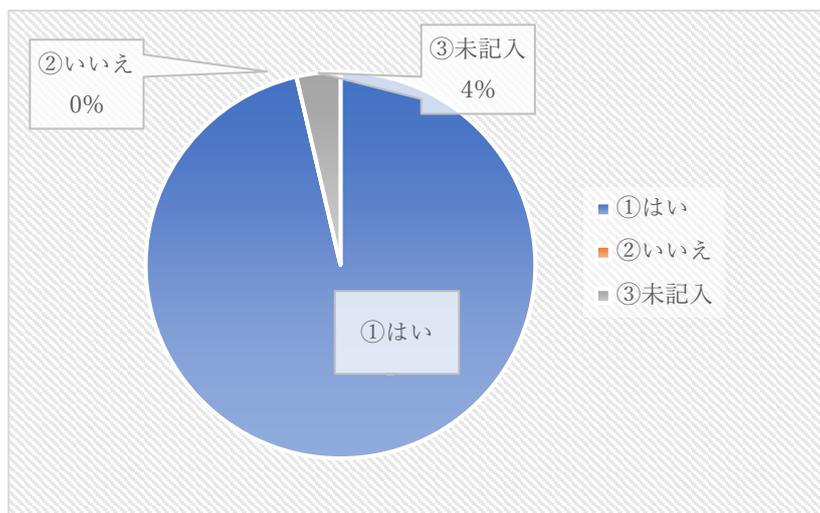
[その他]

・カスタマーハラスメント。ヤングケアラー。



Q7. また、合同研修会に参加したいと思いますか。

① はい	53名
② いいえ	0名
③ 未記入	2名



Q8. 今回の研修や当協会についてご意見・ご要望。

- ・声がとても聞き取りにくかった。Zoomでのグループワークはとても難しかったです。
- ・子供がいるため、会場に行つての参加は難しいが、Zoomでできることで、参加できる機会が増えた。
- ・Zoomでの参加だったのですが、グループワークの時にマイクオフの方もおられ、話しても返答も反応もなかった
ので、グループワークは無くてもよいと思う。
- ・もっと課題に沿って詳しく話して頂けたらと思います。
- ・ホーム葬はいいと思いました。意見交換ができてよかった。
- ・研修会場、トイレだけでなく自動販売機の場所も把握して案内できるようにしておく。
- ・介護の仕事をしていてもあまり看取りを経験する事が少なかった為、大変参考になり、勉強になりました。
- ・良いお話が聞けて良かったです。ありがとうございました。
- ・他施設での事例がもっと知りたいです。意見交換等、今後に活用していきたいと思います。桜は私達にも大きな力
となっています。本当に花見は大切です。
- ・Zoomでのグループワークの難しさ。今回は司会をしてくださる方がいて助かったが、司会者はあらかじめ決めた
ほうが良いのでは？全く反応がない方も居た。
- ・Zoomのグループワークが聞き取りにくかった。
- ・Zoomでしたが、少し聞き取りにくい場面がありました。
- ・音声がかえにくい所が多々ありました(ZOOM)グループワークはもう少し指示していただくとありがたいと思
います。
- ・最期の時をどのように過ごしたいか。聞き取り調査がしづらい。認知症になったら、本当の本人の意思決定が聞け
ないので、不憫だと思います。家族もいなくて独居だと、どう支援すればよいか悩みます。できるだけご本人様の
意向に沿える終末期ケアにチーム(介護士、看護師)で、この研修の考えを基本原則として取り組んでいきたい。
- ・研修当日に急に体調が悪くなった入居者様の対応が必要になりました。主治医、家族様と話し合い、家族様はGH
での看取りを希望されました。最後まで研修を受けられなくなり申し訳ありませんでした。
- ・Zoomだと参加しやすいので、ありがたいが、マイクの具合が悪く聞き取りにくい事が多々あった。今後もZoom
での研修は続けて欲しいが、その辺りの調整をして欲しい。
- ・その人らしく最期を迎えることができるように皆で考えていきたいと思います。
- ・Zoomでのグループワークの難しさを感じました。誰かがリーダーにならないといつまでも話が進まないため、
リーダーを決めてもらってグループワークに進めたら、もっとスムーズに話し合いができるかもしれないと感じま
した。